

令和8年4月7日  
於：梅丘パークホール

第1回 世田谷区本庁舎等における  
区民利用・交流拠点施設事業運営委員会

- 1 開 会
- 2 区長挨拶
- 3 委員紹介 【資料1】
- 4 委員長、副委員長の選出 【資料2】
- 5 会議の進め方について 【資料3】
- 6 議 題
  - (1) 報告案件
    - ① 準備会から委員会への引継ぎ事項
      - ア. 施設運営にあたっての確認事項 【資料4】
      - イ. 準備会での主な議題 【資料5】
    - ② 委員会のスケジュールと主な議題について 【資料6】
    - ③ 利用システムについて 【資料7】
  - (2) 審議案件
    - ① 準備会から委員会への引継ぎ議題
      - ア. 愛称募集（案）について 【資料8】
      - イ. オープニングイベントの検討 【資料9】
      - ウ. 令和8年度事業計画の共有・承認 【資料10】
- 7 次回の日程等

【配布資料】

- 1 委員会各議題資料一式（座席表、資料1～10）

世田谷区本庁舎等における  
区民利用・交流拠点施設事業運営委員会 委員名簿

|        |                       | 氏 名     | 所 属                        |
|--------|-----------------------|---------|----------------------------|
| 委<br>員 | 学<br>識<br>経<br>験<br>者 | 齋藤 啓子   | 元武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科教授   |
|        |                       | 曾田 修司   | 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科教授 |
|        |                       | 福岡 孝則   | 東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授       |
|        | 団<br>体                | 柴田 真希   | NPO法人まちこらぼ代表理事             |
|        |                       | 松田 妙子   | NPO法人せたがや子育てネット代表理事        |
|        | 区<br>民<br>委<br>員      | 土屋 優介   |                            |
|        |                       | 岡 悠人    |                            |
|        | 運<br>営<br>者           | 上遠野 めぐみ | 区民利用・交流拠点施設 施設長            |
|        | 行<br>政                | 中西 成之   | 生活文化政策部長                   |
|        |                       | 伊藤 祐二   | 生活文化政策部市民活動推進課長            |

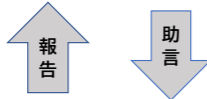
委員一覧表

運営方法について

令和8年4月～

(仮称)事業運営委員会 委員名簿(案)

| No | 分類     | 活動ジャンル    | 氏名    | 役職・所属団体等                   | 議題等   |
|----|--------|-----------|-------|----------------------------|---|
| 1  | 学識経験者  | デザイン、市民参加 | 齋藤 啓子 | 元武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科教授   | 【主な議題】<br>○事業運営方針の策定・改定等<br>○年間事業計画の検討<br>○拠点施設の利用ルール等の検討<br>○拠点施設の利用状況の共有(日常の利用状況、アンケート結果分析等の確認)<br>○施設運営上の課題に対する部会への助言<br><br>【開催頻度】<br>年3回程度 |
| 2  | 学識経験者  | 文化・芸術     | 曾田 修司 | 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科教授 |   |
| 3  | 学識経験者  | みどり       | 福岡 孝則 | 東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授       |   |
| 4  | 区内活動団体 | 区民活動      | 柴田 真希 | NPO法人まちらぼ代表理事              |   |
| 5  | 区内活動団体 | 区民活動、子ども  | 松田 妙子 | NPO法人せたがや子育てネット代表理事        |   |
| 6  | 区民(公募) | —         | 土屋 優介 | 公募区民(18歳～39歳対象)            |   |
| 7  | 区民(公募) | —         | 岡 悠人  | 公募区民(18歳～39歳対象)            |   |
| 8  | 運営事業者  | —         | 施設長   | 区民交流スペース等運営事業者             |   |
| 9  | 行政     | —         | 部長    | 生活文化政策部長                   |   |
| 10 | 行政     | —         | 課長    | 市民活動推進課長                   |   |



【具体的な運営方法】

●委員長について

- ・委員会に委員長、副委員長を置く。
- ・部会には部会長等は設置しない。

●部会の役割

- ・施設の魅力とつながりを高め利用を広げるための企画、支援を行う。
  - ①施設の利用状況を把握し課題と活性化策を検討する。
  - ②メンバーのネットワークを活かし参画体制を広げる。
  - ③状況に応じて事業を企画・実施する((仮)市民活動フェア等)
- ・運営事業者の事業運営に対して助言し方向性を示す等の指南役
- ・部会の総理は各部会事務局が行うとし、また行政各所管は協力・連携する。

【子ども・若者からの意見集約】

●区民委員(18歳～39歳)の設置

- ・若い世代ならではの発想や意見を交流拠点施設事業に反映し、当該世代の方の参加も広げていきたいとの趣旨から18歳～39歳に限定した区民委員を委員会に設置する。

●子どもからの意見集約

- 「意見箱を交流スペースに設置しての子ども向け利用アンケート」、「利用団体(子ども関連団体)へのヒアリング」「子ども対象イベント実施時のアンケート」などにより意見聴取を行い、結果を委員会に共有して事業運営にフィードバックする。

【柔軟な委員会運営】

●クロスオーバー参加

- 委員会、部会双方への参加(報償費なし)や、部会委員の別の部会への参加も可能(任命事由がある場合、クロスオーバー参加可、報償費あり)

●検討部会設置

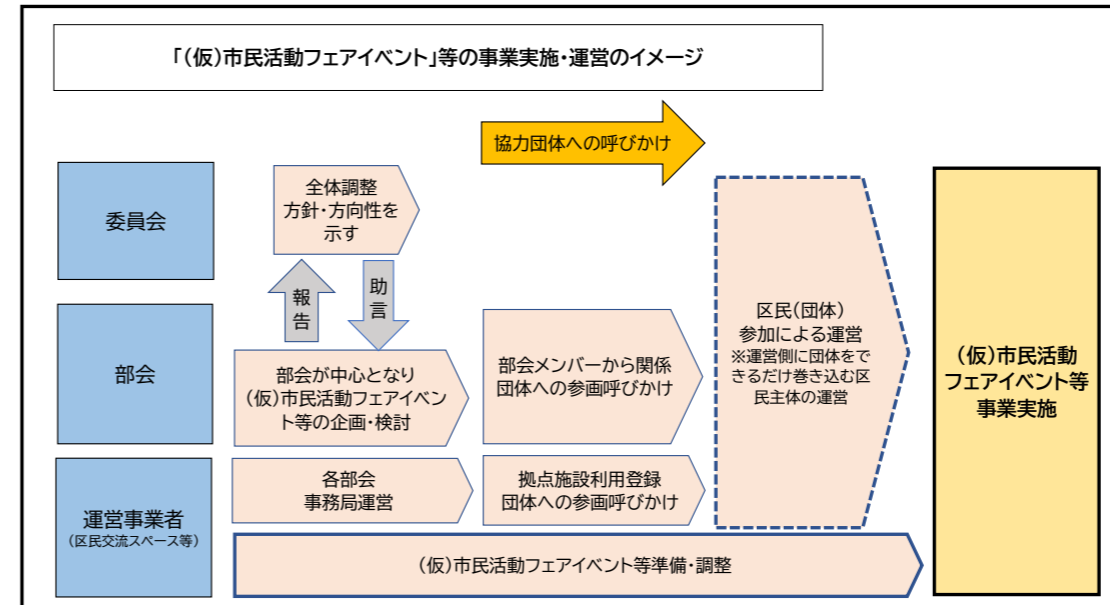
- 委員会委員、部会委員以外に、その時の検討議題に合わせて専門性のある方などに委員会、又は部会参加していただくことも可能(委員会、部会が招へいした場合、報償費あり)

【任期について】

- 任期は2年とする。再任は可能だが、2回までとする(最長6年)。委員に欠員が生じた場合は、補欠委員を置くことができる。補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

| No | 分類     | 活動ジャンル  | 氏名     | 役職・所属団体等                               | 議題等  |
|----|--------|---------|--------|--|--|
| 1  | 中間支援組織 | 団体支援    | 代表者    | 社会福祉法人世田谷ボランティア協会                      | 【主な議題】<br>○運営上の課題に対する企画・支援<br><br>○施設の活性化に向けた企画検討<br><br>○「(仮)市民活動フェアイベント」の企画(参画)検討<br>※上記イベントには文化・芸術に参加・体験できたり、地域アーティストや文化団体と連携し活躍の場を提供するような内容も検討する。<br><br>○利用状況等の把握と検討<br><br>【開催頻度】<br>年3回程度 |
| 2  | 中間支援組織 | 団体支援    | 代表者    | 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会                      |  |
| 3  | 中間支援組織 | 団体支援    | 代表者    | 一般財団法人世田谷トラストまちづくり                     |  |
| 4  | 区内活動団体 | 賑わい創出等  | 石山 恭子  | NPO法人子育て支援グループamigo理事長                 |  |
| 5  | 区内活動団体 | シニア活動   | 河上 勇   | 生涯現役フェア実行委員長                           |  |
| 6  | 区内活動団体 | 障害者関連団体 | 村井 やよい | 世田谷区障害者福祉団体連絡協議会会長                     |  |
| 7  | 学生(若者) | —       | 酒井 希埜  | 明治大学ボランティアサークル「Relief」(学生ボランティアネットワーク) |  |
| 8  | 学生(若者) | —       | 池田 煌汰朗 | 国士館大学 NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)         |  |
| 9  | 行政(代表) | —       | 課長     | 市民活動推進課長                               |  |
| 10 | 行政     | —       | 課長     | 障害施策推進課長                               |  |
| 11 | 運営事業者  | —       | 施設長    | 区民交流スペース等運営事業者                         |  |
| 1  | 中間支援組織 | 団体支援    | 代表者    | 公益財団法人せたがや文化財団                         | 【開催頻度】<br>年3回程度  |
| 2  | 区内活動団体 | 賑わい創出等  | 検討中    | 「文化・芸術関係」区内団体関係者                       |  |
| 3  | 区内活動団体 | —       | 検討中    | 「文化・芸術関係」区内団体関係者                       |  |
| 4  | 行政     | —       | 課長     | 文化・国際課長                                |  |

| No | 分類     | 活動ジャンル | 氏名     | 役職・所属団体等                       | 議題等   |
|----|--------|--------|--------|--------------------------------|---|
| 1  | 中間支援組織 | 団体支援   | 代表者    | 一般財団法人世田谷トラストまちづくり             | 【主な議題】<br>○運営上の課題に対する企画・支援<br><br>○屋上区民花壇等の区民参加事業について<br><br>○「(仮)市民活動フェアイベント(みどり活動)」の企画(参画)検討<br><br>○利用状況等の把握と検討<br><br>【開催頻度】<br>年3回程度 |
| 2  | 区内活動団体 | みどり    | 大坪 義明  | 世田谷みどり33協働会議事務局長               |   |
| 3  | 区内活動団体 | みどり    | 湧口 善之  | 一般社団法人街の木のづくりネットワーク代表理事        |   |
| 4  | 学生(若者) | —      | 松澤 櫻太郎 | 東京農業大学                         |   |
| 5  | 学生(若者) | —      | 堀 集人   | 駒沢大学ボランティアサークル(学生ボランティアネットワーク) |   |
| 6  | 行政(代表) | —      | 課長     | 庁舎管理担当課長                       |   |
| 7  | 行政     | —      | 課長     | みどり政策課長                        |   |
| 8  | 行政     | —      | 課長     | 市民活動推進課長                       |   |
| 9  | 運営事業者  | —      | 施設長    | 区民交流スペース等運営事業者                 |   |



## 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設事業運営委員会設置要綱

令和8年3月16日

7世市活第826号

(目的及び設置)

**第1条** 本庁舎等において整備する区民会館、区民交流スペース、広場、屋上庭園等の多様な区民利用・交流拠点施設で行う事業（以下「区民利用・交流拠点施設事業」という。）の運営における情報及び課題を関係者が共有し、並びに改善策を話し合う場とする、世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設事業運営委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

**第2条** 運営委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 区民利用・交流拠点施設事業の運営及び事業の内容に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、委員長が必要と認める事項

(組織)

**第3条** 運営委員会は、委員会並びに区民活動・交流部会及び文化・芸術部会、みどり部会（以下「部会」という。）をもって構成する。

2 委員会の委員は、次に掲げる者11名以内をもって組織し、区長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 区内活動団体代表者
- (3) 区内に在住、在勤又は在学する公募により選出した者
- (4) 区民利用・交流拠点施設事業運営業務委託受託者
- (5) 区職員のうち、別表に掲げる職にある者
- (6) 前各号に掲げる者のほか、区長が必要と認めた者

3 部会の委員は、次に掲げる者11名以内をもって組織し、区長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 区内活動団体代表者
- (2) 区内在住、在学の大学生
- (3) 区民利用・交流拠点施設事業運営業務委託受託者
- (4) 区職員のうち、別表に掲げる職にあるもの
- (5) 前各号に掲げる者のほか、区長が必要と認めた者

4 区長は、区内活動団体に対して、委員会又は部会の出席者の推薦を依頼することができる。この場合において、当該推薦を受けた出席者は、その委員会又は部会に限り委員とみなす。

(委員長等)

**第4条** 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 部会の総理は事務局において処理する。

(会議)

**第5条** 委員会は、委員長が招集し、部会は、事務局が招集する。

- 2 委員会及び部会は、委員2分の1以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 部会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員会に報告し、委員長の決するところによる。
- 5 部会は、審議の経過及び結果を委員会に報告するものとする。
- 6 委員会及び部会は公開とする。ただし、委員会及び部会が必要と認めたときは、非公開とすることができる。

(任期)

**第6条** 委員会及び部会の委員の任期は、委嘱又は任命の日から2年とし、再任は、2回までとする。

- 2 委員会及び部会の委員に欠員が生じた場合は、補欠委員を置くことができる。この場合において、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(関係者の出席)

**第7条** 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の関係者の出席を求め、その説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(検討部会)

**第8条** 委員長は、必要があると認めるときは、検討部会を置くことができる。

- 2 検討部会の組織その他運営に関して必要な事項は、委員長が定める。

(事務局)

**第9条** 運営委員会の事務局は、生活文化政策部市民活動推進課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、運営委員会の運営に関する事項その他必要な事項は、委員長が定める。

附 則

1 この要綱は、令和8年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

1 委員会

|                 |
|-----------------|
| 生活文化政策部長        |
| 生活文化政策部市民活動推進課長 |

2 部会

|           |   |
|-----------|---|
| 区民活動・交流部会 | 生活文化政策部市民活動推進課長<br>障害福祉部障害施策推進課長                        |
| 文化・芸術部会   | 生活文化政策部文化・国際課長  |
| みどり部会     | 庁舎整備担当部庁舎管理担当課長<br>みどり33推進担当部みどり政策課長<br>生活文化政策部市民活動推進課長 |

## 会議の進め方について

### 1 ラウンドテーブル方式等を取り入れた話しやすい雰囲気づくり

#### 【事業者提案事項】

##### ■ ラウンドテーブル方式やテーマを決めたワークショップ形式で行う



自由闊達な議論を実現するため、必要に応じてテーマを決めてラウンドテーブル方式やワークショップ形式で意見交換を行います。

### 2 進行、運営方法の変更

#### (目的)

委員の発言時間の確保、区事務局の1問1答形式の廃止、合議制による会議運営方式の導入

#### (内容)

- ・進行は会長が行う。
- ・事業者は組立ての事前検討・調整を区と協議の上行い、当日は適宜会長のフォロー、WSのファシリテーター等を行う。
- ・区事務局は、各委員と同じ立場で必要に応じて発言する。

例)例えばオープニングイベントが議題の場合は、出た意見を踏まえて委員会としての方向性や結論を進行役が中心となり決めていく。

### 3 オープニングイベント参加団体との調整状況の共有について(アプリシステムの導入)

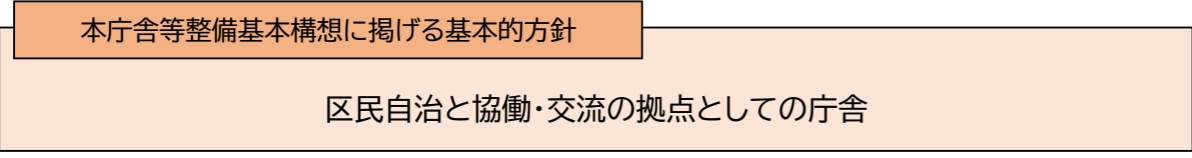
#### (目的)

- ・委員が随時進捗状況をアプリで把握することができる
- ・委員会や部会前に大量の資料等を共有することを避けられる。

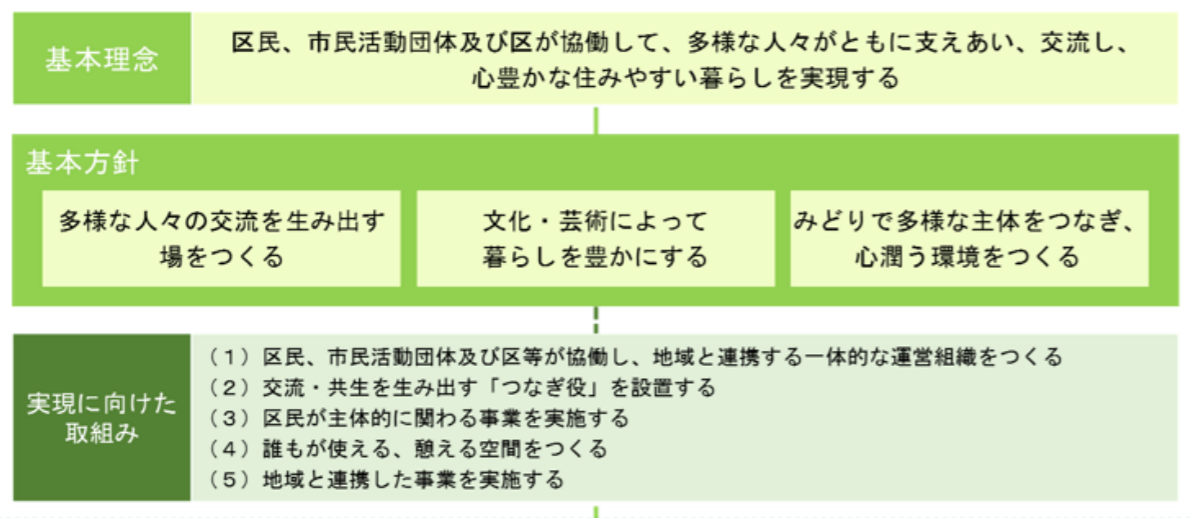
#### (内容)

- ・コミュニケーションアプリを導入し、委員会、部会の開催の間に行っている団体とのイベントの調整状況を各委員が把握できるようにする。

○区民利用・交流拠点施設運営にあたっての確認事項



運営基本計画



事業運営実施計画



基本方針に基づく事業概要

| 区民活動・交流事業  | 文化・芸術事業   | みどり事業   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体の活動や展示の場を提供し、可視化する事業</li> <li>市民活動に関する情報収集・発信事業</li> <li>市民活動団体の活動、交流を促進し、持続性を高める事業</li> <li>市民活動団体の新たな活動を支援する事業</li> <li>区民と区の交流、協働を生み出す事業</li> <li>区民の憩いの場所を演出する事業</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>区民が文化・芸術に出会い、参加・体験することができる事業</li> <li>地域のアーティスト、文化団体と連携する事業</li> <li>区民が良質な文化・芸術を鑑賞することができる事業</li> <li>文化・芸術の多様性を活かした事業</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>みどりに触れ、育む機会を提供する事業</li> <li>地域にみどりを広げるための事業</li> <li>みどりを共に育む事業</li> <li>みどりを通じて環境保全に寄与する事業</li> </ul> |

| 全体調整   |
|--|
| <p>区民利用・交流拠点としての一体性を保持し、全体の事業効果を最大化するため、全体調整を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用調整</li> <li>異なる分野が連携した事業</li> <li>周辺地域と連携して行う事業</li> <li>施設を活用した賑わい創出事業</li> <li>広域的に展開する事業</li> <li>(仮称) 事業運営委員会事務</li> </ul> |

本資料は、施設の運営にあたり根幹となる事項を明確化し、様々な事項を決定する上での軸とし、また、委員や区職員が交代してしまってもこれまでの検討の積み上げを継承していくことを目的に作成したものであり、重要事項の決定やメンバー交代の際などに逐次、共有するものとする。

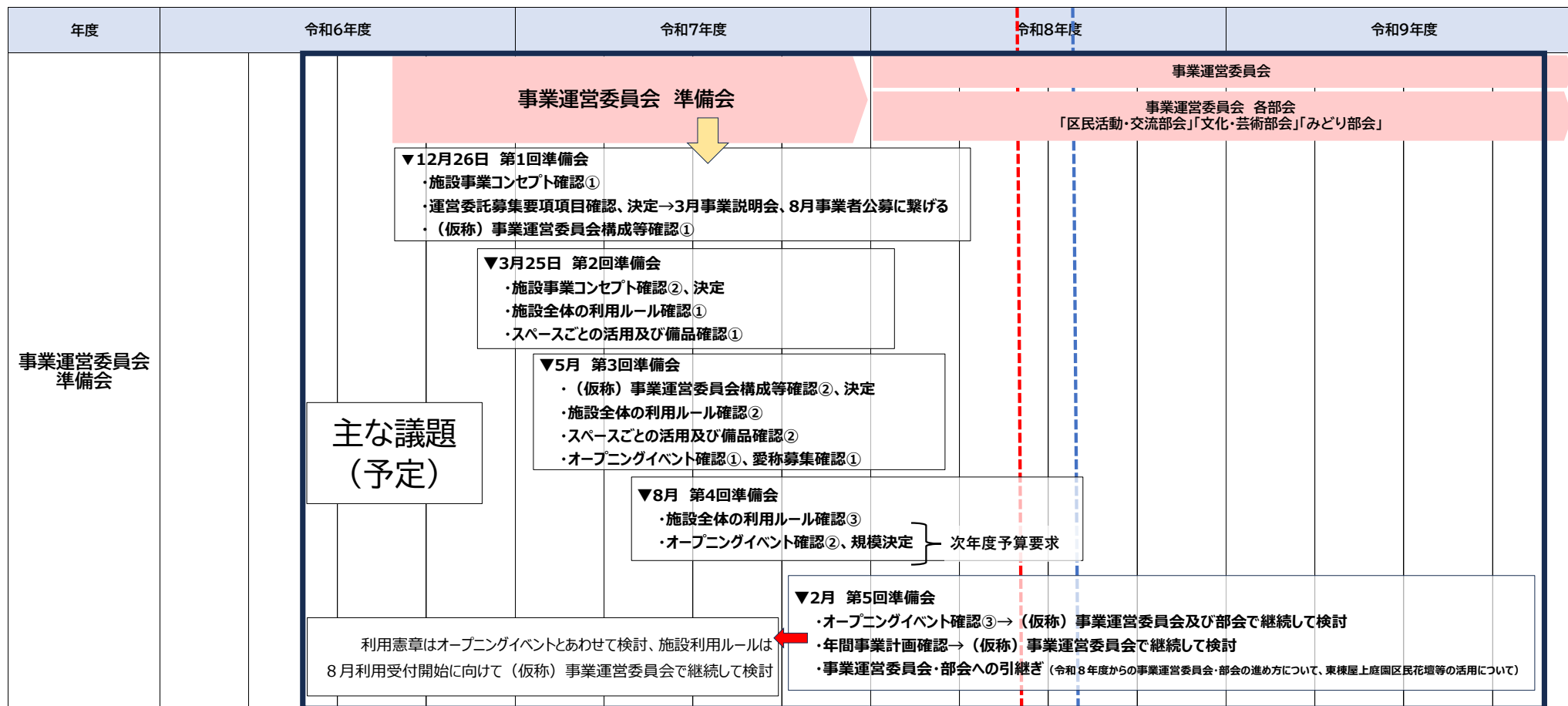
| No. | 運営にあたっての確認事項   |
|-----|--|
| 1   | <p>原則無料・予約不要・営利可能な場づくり</p> <p>(解説)<br/>施設や備品を原則無料かつ予約不要・当日申請で利用可能とするが、先着順により特定の団体等が占有することがないように、予約が必要な活動は事前相談を必須とし、事前相談では区民参加・交流・協働につながるよう利用調整を行う。また、賑わいの創出を通じた交流の促進が見込まれれば営利での活動も妨げない。</p>                      |
| 2   | <p>定期的かつ魅力的なイベントの実施・気軽に立ち寄れる場づくり</p> <p>(解説)<br/>開庁時や閉庁時に関わらず定期的かつ魅力的なイベント実施等により賑わいを創出する。また、イベント実施だけでなく区役所に来られた様々な方々が気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごせるような空間づくりを行う。</p>  |
| 3   | <p>柔軟に見直し(トライ&amp;エラー)が可能な施設運営</p> <p>(解説)<br/>ルール等は固定化しすぎず、随時利用団体や区民からの意見徴取、利用状況等の分析を行い、区、運営事業者、区民、団体が構成する(仮称)事業運営委員会で一体的に協議し、適宜柔軟に見直し(トライ&amp;エラー)を図る。また、新たな人材を育成し、次世代との循環を図るため、委員は再任の回数を制限するなど長期の固定化を避ける。</p> |
| 4   | <p>チャレンジ・バージョンアップ・マッチング</p> <p>(解説)<br/>活動経験の有無に関わらず、新たな活動へのチャレンジや、よりよい活動へのバージョンアップを促すため、相談対応を通して、実施に向けての企画提案・助言や、関連する団体や区所管へのマッチング、活動の情報発信などを行う。</p>  |
| 5   | <p>区民、団体、区職員がオープンな活動に参加し、交流や協働を育み、課題解決に寄与</p> <p>(解説)<br/>本庁舎にある利点を生かし、区民、団体、区職員が区民交流スペースを中心としたオープンな活動に積極的に参加し、そこで交流や協働が生まれ、広がることにより、区や地域が抱える課題や区民や団体のニーズをよりの確に捉え、施策への反映や課題の解決にも繋げていく。</p>                       |
| 6   | <p>区及び運営事業者が中心となって、区民、団体、区をつなぐ</p> <p>(解説)<br/>区(市民活動推進課)及び運営事業者は、場の提供や情報発信、相談対応等の団体活動の支援を始め、区民、団体、区関係所管とのマッチングや交流の機会を創出するつなぎ役の機能を担う。</p>  |

## 区民利用・交流拠点施設 準備会での主な議題について

## 区民利用・交流拠点施設 全体スケジュール

2期工事竣工 令和8年9月18日頃▼

▼令和8年11月 区民利用・交流拠点施設 開設予定



## 区民利用・交流拠点施設 開設までの運営委員会・部会スケジュールと主な議題について

区民利用・交流拠点施設 全体スケジュール

2期工事竣工 令和8年9月18日(予定)▼

▼令和8年11月 区民利用・交流拠点施設 開設予定

| 年度                      | 令和8年度   |   |   | 令和9年度  |  |  |
|-------------------------|---|---|---|--|--|--|
|                         | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月  | 1～3月   | 4～6月   | 7～9月   |
| 事業運営委員会                 | ▼4/7 第1回委員会<br>・会議の進め方について<br>・準備会から委員会への引継ぎ議題<br>ア. 愛称募集(案)について<br>イ. オープニングイベントの検討<br>ウ. R8年度年間事業計画の共有・承認<br>・利用システムについて<br>「利用ルール素案」と予定していた議題は、「利用システム」として微修正。<br>第1回で予定していた「事業運営方針の策定」は第2回の議題に変更。 |   | ▼施設開設<br>▼オープニングイベント<br>11/3～11/23<br>20日間の実施   |  | ▼3月 第3回委員会<br>・部会検討状況の共有<br>・OPイベント及び施設利用状況の振り返り<br>(日常利用・アンケート結果分析等)<br>・R9年度「年間事業計画」の検討、確認・承認                              |  |
|                         |   | ▼8月 第2回委員会<br>・R9年度年間事業計画の提案・意見交換<br>(公用・団体利用集約、事業者提案事項)<br>・R9年度「市民活動フェア」企画(参画)検討<br>・愛称募集(案)最終決定<br>・事業運営方針の策定(確認事項・区が取組むことを整理)           } 次年度予算要求 |   |  | ▼5月 第1回委員会(R9年度)<br>・部会検討状況の共有<br>・前年度成果を踏まえた本年度以降の目標及び方針の確認<br>・中長期的な課題の検討  |  |
| 「区民活動・交流」、<br>「文化・芸術」部会 | ▼5月 第1回「区民活動・交流、文化部会」<br>・オープニングイベントの企画(参画)検討、全体振付<br>・「利用憲章(案)」の検討<br>・OPイベントでの課題解決テーマ設定の具体化<br>・シード作成検討<br>委員会での検討から部会の検討へ変更(具体的な利用をイメージした検討となるため)  |   | ▼7月 第2回「区民活動・交流、文化部会」<br>・オープニングイベントの企画・参画検討、全体振付<br>・R9年度「市民活動フェア」企画(参画)検討<br>・「利用憲章(案)」の確定<br>・OPイベントでの課題解決テーマ設定の具体化<br>・シード作成検討<br>} 次年度予算要求 | ▼2月 第3回「区民活動・交流、文化部会」<br>・オープニングイベントの振り返り<br>・利用状況の把握・検討<br>・R9年度の施設の活性化に向けた企画・検討<br>・R9年度「(仮)市民活動フェア」企画(参画)検討     |  | ▼4月 第1回「区民活動・交流、文化部会」<br>(R9年度)<br>・施設の活性化に向けた企画・検討<br>・「(仮)市民活動フェア」企画(参画)検討 |
|                         |   | ▼5月 第1回「みどり部会」<br>・オープニングイベント(みどり活動)の企画(参画)検討<br>・屋上区民花壇等の区民参加事業について  |   | ▼7月 第2回「みどり部会」<br>・オープニングイベント(みどり活動)の企画(参画)検討<br>・屋上区民花壇等の区民参加事業について<br>・R9年度「市民活動フェア(みどり活動)」企画(参画)検討<br>} 次年度予算要求 | ▼2月 「第3回みどり部会」<br>・オープニングイベント(みどり活動)の振り返り<br>・屋上区民花壇等の区民参加事業について<br>・R9年度の施設の活性化に向けた画・検討<br>・R9年度「(仮)市民活動フェア(みどり活動)」企画(参画)検討 |  |
| みどり部会                   |   |   |   |  |  |  |

## 利用受付システム及び利用受付スケジュールについて

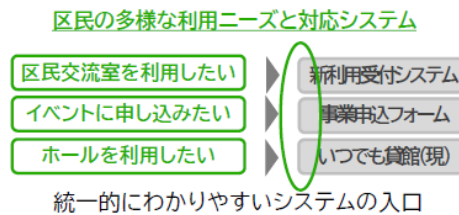
### 1 利用受付システムについて

世田谷区公式 LINE を活用した利用受付システムの導入(資料7-2)により、分かりやすく誰もが気軽に使いやすい利用受付システムを構築する。

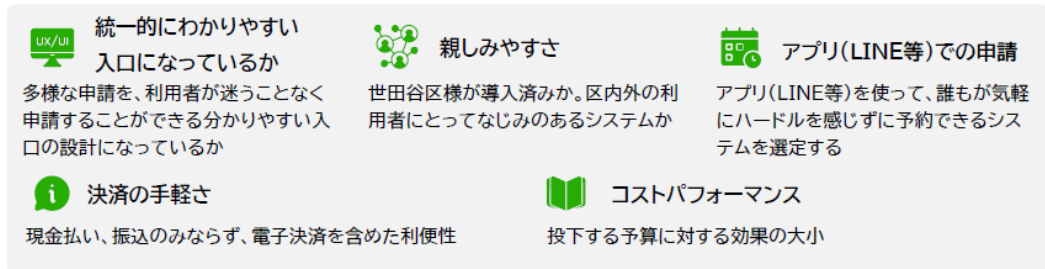
#### 【事業者提案事項】

##### ■ 利用者ニーズを徹底検証し、最適なシステム導入を決定します

当施設は、公共施設内に位置するスペースとして、区内外の利用希望者にとっての利用予約の利便性を検証し、最適な利用受付システムを採用します。採用に向けては、受託後、世田谷区様が導入しているインフラを中心に、利用者ニーズの検証、運用コスト等、指標を検討の上、選定を行います。



##### ● 利用受付システムに求められる要素



### 2 利用受付スケジュールについて

令和8年8月の利用案内送付、9月からの予約受付開始に向け、全体のスケジュール(資料 7-3)を作成しました。

#### 【1年後利用の一括受付】

- ①世田谷区民会館の予約受付期間にあわせ、受付を行う。
- ②世田谷区民会館利用が抽選決定後、結果を踏まえ、利用調整し、利用を決定。

例：令和9年11月分の利用

|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 令和8年10月1日～25日 | 区民会館及び区民利用・交流拠点施設予約受付    |
| 10月末          | 区民会館利用抽選決定               |
| 11月1日～11月末    | 抽選結果を踏まえ、区民利用・交流拠点施設利用調整 |
| 11月末          | 区民利用・交流拠点施設利用決定          |

#### 【一括受付後の随時受付】

先着とはせず、1か月単位で申請を受け付け、利用調整の上、決定。

例：令和9年11月分の利用

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 令和8年12月～ | 随時利用分受付開始            |
| 令和9年 1月  | 令和8年12月申請分を利用調整し、決定。 |

## 利用受付システム イメージ①

個人のスマートフォンから  
世田谷区公式LINE上で  
申請を可能に！



タップすると・・・

## ウェブ予約

- リユース品の持ち込み
- 妊娠期面接

## LINE 予約

- 保育などの窓口相談
- 予約確認・キャンセル

区民利用・交流拠点施設予約

団体登録、施設の予約、空き状況確認を可能に！  
登録団体へのプッシュ通知も検討中

# 利用受付システム イメージ②

一問一答形式の  
分かりやすい入力

予約したい日、時間帯を選択してください。  
※「時間帯」は、受付可能な時間ではなく相談時間です。開始時刻に窓口にお越しください。

日付を選択

2024-06-14 9:30～10:00

予約者 [ ] のお名前を入力して送信してください。  
※代表者1名のお名前のみ記入してください。

DXテスト

連絡先電話番号（携帯番号など）を入力して送信してください。  
※半角数字、ハイフンなし

0001234567

お住いの郵便番号を入力してください。（数字7桁、ハイフンなし）

空き状況も申込み  
時に確認可能

空き状況が一目瞭然！

世田谷： [ ]

| 4月 2024 |    |    |    |    |    |    |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日       | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|         | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7       | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14      | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21      | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28      | 29 | 30 |    |    |    |    |

2024-04-18

- 9:30～10:00 残り1席
- 10:30～11:00 残り1席
- 15:30～16:00 残り1席

✓ 確定

利用者へのプッシュ  
通知も

参加者への配信機能

[ ] アンケート

本日は説明会に参加いただきありがとうございました。  
[ ] より良くするため、アンケートの回答にご協力をお願いいたします。

アンケートに回答する

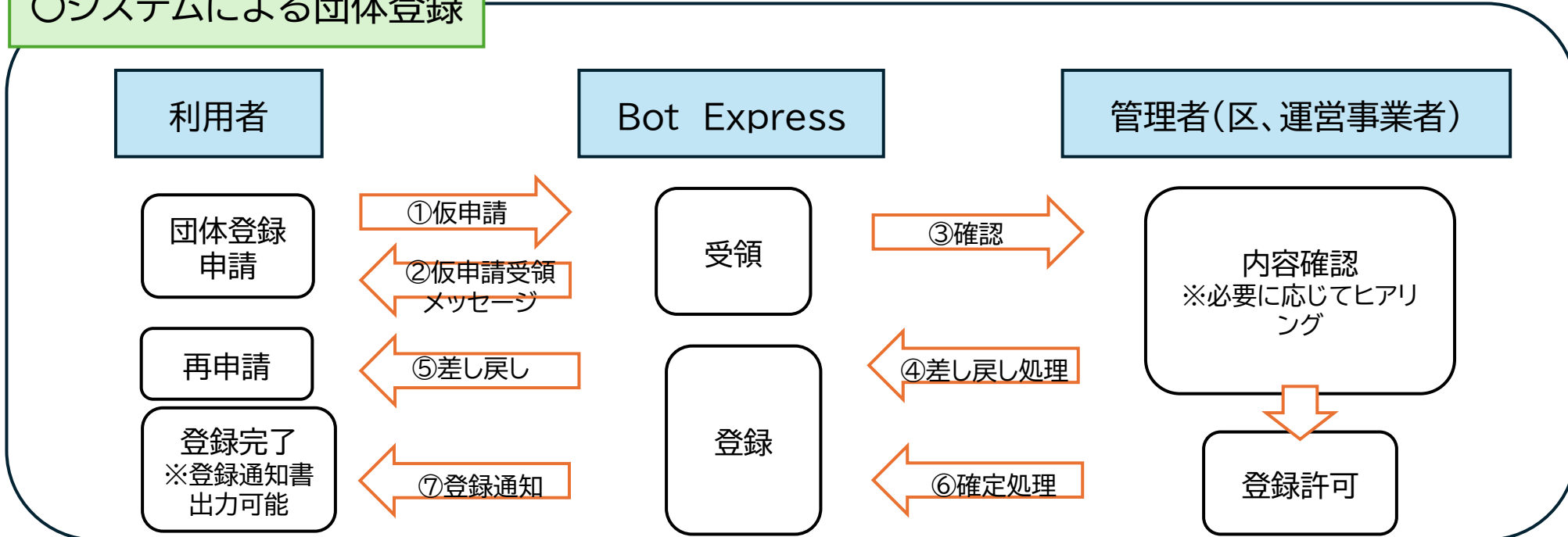
アンケートは6問で、回答時間は3分程度です。

説明会后、当日中に参加者のLINEへ  
メッセージ配信を行い、  
アンケートを実施しました。

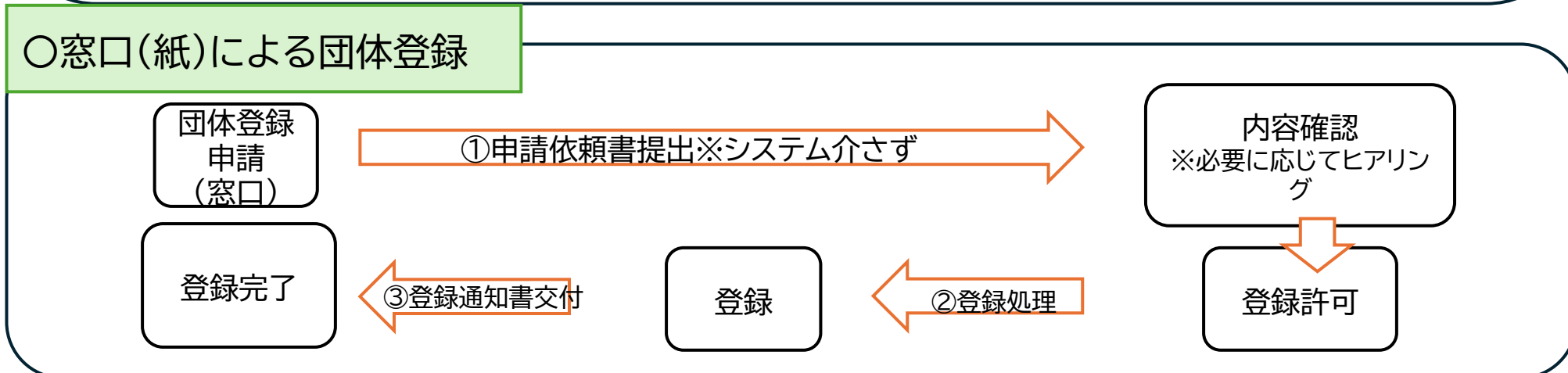
効果的なタイミングで  
対象者へのメッセージ配信が可能

# 利用受付フロー 団体登録

## ○システムによる団体登録

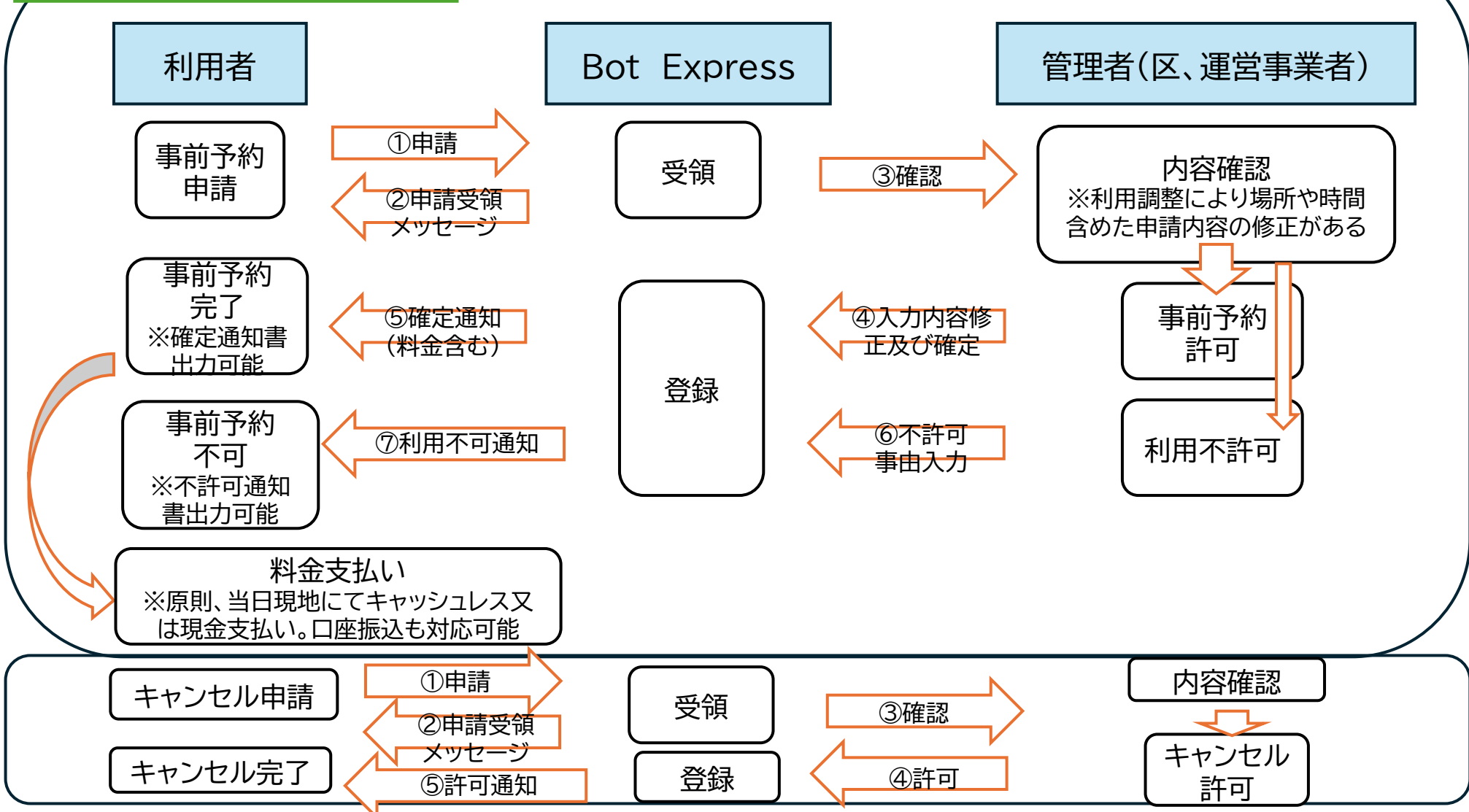


## ○窓口(紙)による団体登録



# 利用受付フロー 事前予約(1)

## ○システムによる事前予約



# 利用受付フロー 事前予約(2)

## ○窓口(紙)による事前予約

利用者

事前予約  
申請

事前予約  
完了

事前予約  
不可

料金支払い  
※システム介さず

Bot Express

①事前予約申請書提出※システム介さず

②事前予約申請書(写し)の交付※システム介さず

③事前予約確定通知書の交付※システム介さず

登録

④登録処理

④事前予約利用不可通知書の交付※システム介さず

管理者(区、運営事業者)

内容確認  
※利用調整により場所や時間  
含めた申請内容の修正がある

事前予約  
許可

利用不許可

キャンセル申請

キャンセル完了

①キャンセル申請書提出※システム介さず

②キャンセル許可書の交付※システム介さず

登録

③登録処理

内容確認

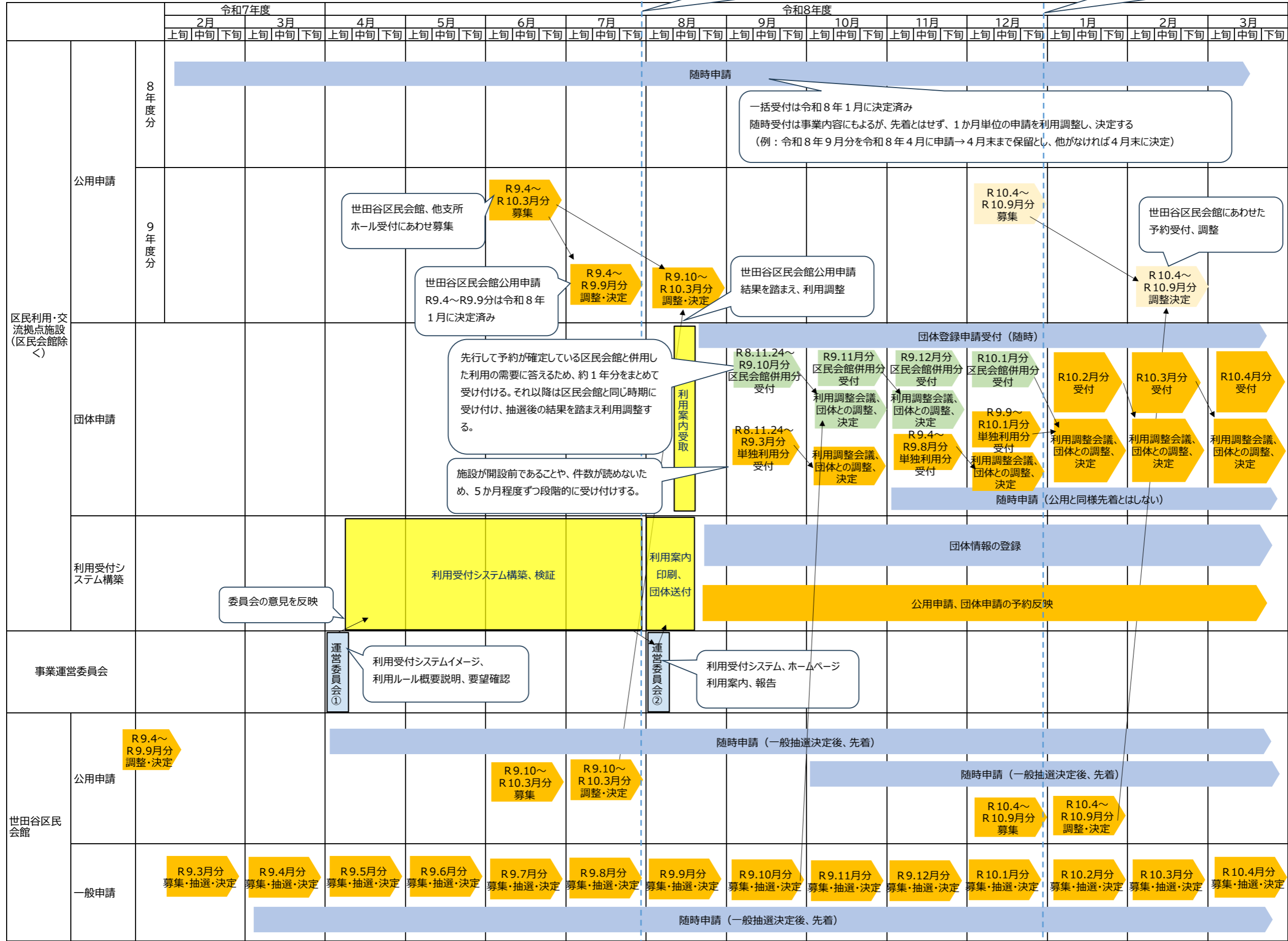
キャンセル  
許可

# 利用受付スケジュールイメージ

この時点で公用申請がルーチン化（通常スケジュール化）する

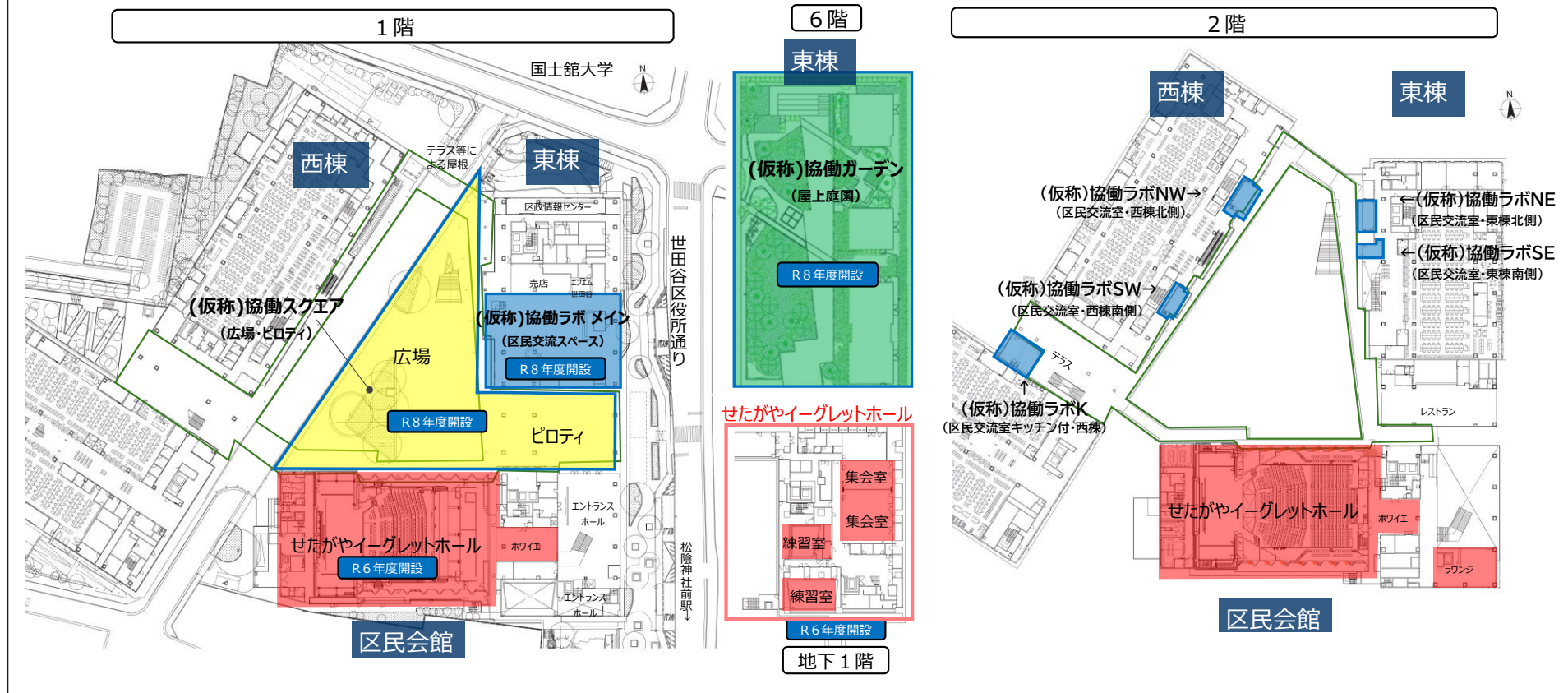
この時点で団体申請がルーチン化（通常スケジュール化）する

資料7-3



(仮称)協働プレイス

(区民利用・交流拠点施設 ※せたがやイーグレットホールを除く)



【齋藤委員よりいただいたご意見】

・愛称をつけたい空間のカテゴリーを3つ(屋外、屋内、屋上)に分けて説明するのに賛成です。

①愛称〇〇プレイス、〇〇スクエア、〇〇ラボ、〇〇ガーデン

というように全体の愛称と3つの空間に対して愛称名は〇〇ひとつ。

②愛称全体◇◇プレイス、愛称1●●スクエア、愛称2◎◎ラボ、愛称3△△ガーデン

というように愛称は複数で、それに付帯させて使うための名称としてプレイス、スクエア、ラボ、ガーデン、を使用。

③愛称0□□□(全体の総称)、愛称1〇〇〇〇(スクエア部分)、愛称2◎◎◎(ラボ部分)、愛称3◇◇◇◇(ガーデン部分)

というように全体の愛称と3つの空間でそれぞれ異なる名称をつけてもOK。

上記①②③の考え方ができると思います。 そのどの考え方でよいとすると、説明に工夫が必要ですね。

| 項目                 | 進め方、考え方   | 令和8年度                          |    |  |    |                                  |    |                 |   |     |                   |    |                              | 9年度                        |
|--------------------|---|--------------------------------|----|--|----|----------------------------------|----|-----------------|---|-----|-------------------|----|------------------------------|----------------------------|
|                    |   | 4月                             | 5月 | 6月                                     | 7月 | 8月                               | 9月 | 10月             | 11月   | 12月 | 1月                | 2月 | 3月                           | 4月                         |
| 全体スケジュール           |   | ▼第1回委員会（4月）                    |    | ▼第2回委員会（8月）                            |    | ▼第3回委員会（3月）                      |    | 施設開設・オープニングイベント | ▼第3回各代会（2月）<br>・出店内容の確認・検討                          |     |                   |    |                              | ▼第3回各代会（2月）<br>・出店内容の確認・検討 |
|                    |   | ▼第1回各代会（5月）<br>・内容の確認・検討       |    | ▼第2回各代会（7月）<br>・内容の確認・検討               |    | 令和9年度市民活動フェアイベントの検討              |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |
|                    |   | 団体との利用調整                       |    | 施設全体を活用した区民参加型事業の検討<br>(案 屋外用のシェードの作成) |    | 周知・PR                            |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |
| 参加申し込み団体、区公用事業との調整 | 企画段階から団体へ参加を促し、区と団体と協働で作上げていく。  | 申込受付（随時）                       |    | 区と運営事業者がニーズや部会等の意見を踏まえ、イベント全体を利用調整。    |    | 複数回リモート等での打ち合わせを随時行う。            |    | 施設開設・オープニングイベント | イベント終了後も、定期的に交流を図り、令和9年度市民活動フェアイベントの参加や継続的な施設利用を促す。 |     |                   |    |                              |                            |
|                    |   | ▼4月中参加団体と区の顔合わせ、交流会等にて企画内容を具体化 |    | 区公用事業とマッチングした団体とをつなぐ（協働）               |    |                                  |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |
|                    |   |                                |    |  |    |                                  |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |
| 愛称募集               | ○施設がまだなく、応募者がイメージしづらいことから、施設開設とあわせ募集し、令和8年度末までに決定する。<br>○仮称を委員会で決定し、考える一助にしてください<br>案 施設全体⇒協働プレイス 屋内⇒協働ラボ 屋外⇒協働スクエア 屋上⇒協働ガーデン                             | ▼第1回委員会（4月）<br>愛称募集（案）の確認・検討   |    | ▼第2回委員会（8月）<br>愛称募集（案）の確定              |    | ▼第3回委員会（3月）<br>同日に選定委員会を実施し、愛称決定 |    | 施設開設・オープニングイベント | 愛称募集（施設見学可）   |     | 選定                |    | 愛称決定後、庁舎サイン等の変更<br>ロゴ等の作成の検討 |                            |
|                    |   |                                |    |  |    |                                  |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |
|                    |   |                                |    |  |    |                                  |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |
| (仮称)利用憲章           | ○施設の意義や理念を理解いただくため、禁止行為や遵守事項ではなく、(仮称)利用憲章を作成し、施設に掲示する。<br>○作成にあたっては、委員会で素案をまとめ、オープニングイベント期間中に区民参加のワークショップにて複数回検討し、オープニングイベントフィナーレイベント時(11月23日最終日)にお披露目する。 | ▼第1回各代会（5月）<br>・素案の確認・検討       |    | ▼第2回各代会（7月）<br>・素案の確定                  |    | ▼利用受付開始（8月）<br>利用案内配布、利用受付システム公開 |    | 施設開設・オープニングイベント | 複数回WS ⇒決定   |     | 施設内に掲示、団体登録等の際に説明 |    |                              |                            |
|                    |   | 利用ルール検討、利用案内、利用受付システム構築        |    |  |    |                                  |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |
|                    |   |                                |    |  |    |                                  |    |                 |   |     |                   |    |                              |                            |

委員会での検討から部会の検討へ変更（具体的な利用をイメージした検討となるため）

▼その他、特定の課題（ごみ処理や紙のデジタル化）への対応や、イベント期間中の活動内容や結果、反省点等について団体から団体へ引き継いでいくような企画も検討する。

資料9-2は  
非公表

本庁舎に新たにできる区民利用・交流拠点施設  
 オープニングイベントを考える会 第0回 ～みんなで夢を描こう～

## 1 概要

- (1) 日時 令和8年3月4日(水) 18:30～20:30  
 (2) 開催手法 チームスによるリモート会議  
 (3) 参加団体 15団体程度 (オープニングイベント参加表明団体22団体中)

## 2 内容

- (1) 交流拠点施設の概要について説明 (区より)  
 (2) オープニングイベントの目的を説明 (区より)  
 ・市民活動支援の拠点のオープンのPR  
 ・企画段階からの区と団体の協働の実践  
 ・長期間(21日間)の実施  
 ・交流や協働、参加の促進  
 一緒に企画・検討していく中で、団体さん同士がお互い知り合いになれたり、協力や  
 コラボするなどの交流が生まれると良い。また初めて来られた方が活動を気軽に見れ、  
 参加できたりするなどよりオープンなイベントにできると良い。
- (3) オープニングイベントのスケジュール、概要の説明  
 (4) 参加団体の自己紹介  
 (5) 参加団体との意見交換
- 20分程度
- 1時間40分程度

## 3 参加団体からの主な意見等 (当日参加できなかった団体の意見も含む)

- (1) イベントのテーマ設定やキャッチコピーについて  
 ・人や活動がつながる 「新しい区役所でつながろう」  
 ・「コミュニティ・ウェルビーイング せたがや」  
 不登校や引きこもり相談、居場所づくり、高齢者や学生の一人暮らしのサポートなど  
 ・参加団体に確認してみても良い。  
 ・テーマ設定があると嬉しい。オープニング企画のためある程度漠然としたものが良いかも。
- (2) 団体同士や区事業とのマッチング方法や進め方について  
 ・テーブルごとなど少人数でつながる機会を作るとコラボが自然と生まれやすい  
 ・各団体の施設等に伺っての打合せなどがあると良い。  
 ・個人で企画したいか、みんなで企画したいかも確認できると良い。  
 ・親和性は参加団体に判断を任せても良い。「子ども」「福祉」「生活」など大きな枠組みで  
 テーマを設定しても良い。  
 ・日ごとにテーマ設定しても良い。幅広い団体が参加できるような横断的なテーマを考えて  
 どうか。また若者が参加しやすいテーマも設定してほしい。「若者デー」など

- ・年齢層によるグループ（①高齢者②学童おやこ③青少年・壮年）に分けて、日付を分けたりまとめて実施する日を作ったり、年齢層とは別に交流型で集めても良い。
- ・分野でカテゴライズせず、関係性ができていく形が良いかもしれない。
- ・各団体の参加希望日時や期間を共有できると、マッチングが進みやすい。

### （3）3/4 意見交換会の感想

- ・様々な分野の団体が参加されていて面白い会だった。
- ・オンライン会議は発言のタイミングが難しかった。他のツールを使ってみても良い。
- ・各団体が無理なく希望の形で参加でき、世田谷区がより盛り上がっていくようなイベントができると良い。

## 4 今後のスケジュール（予定）

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 令和8年4月7日 | 第1回 事業運営委員会             |
| 4月中旬頃    | 対面での交流会                 |
| 5月上旬ごろ   | 第1回 区民活動・交流部会           |
| 5月以降     | 参加団体と随時、イベント企画検討・調整     |
| 7月ごろ     | 第2回 区民活動・交流部会           |
| 8月ごろ     | 第1回 事業運営委員会             |
| 8月以降     | 引き続き参加団体と随時、イベント企画検討・調整 |
| 11月3日    | 施設開設・事業開始、オープニングイベント開始  |

資料9-4は  
非公表

資料10—1は  
非公表

| No. | カテゴリー           | 件名                                   | 対象   | 時期・頻度   | 実施内容（イメージ）  | 目的  | 2026年度 |      | 2027 |
|-----|-----------------|--------------------------------------|--|---|---|---|--------|------|------|
|     |                 |                                      |  |   |   |   | 4～10   | 11～3 |      |
| 1   | 広場等を活用した賑わい創出事業 | 2026年11月以降における広場を活用した賑わい創出のためのアクション  | 実施主体：<br>・市民団体<br>・みどり33<br>・レストラン事業者<br>・施設利用者          | 4月～<br>調整開始   | 4月から統括責任者、副統括責任者、マッチングコーディネートディレクターが着任する。4月以降に、具体的に各団体に対してアプローチをしていく予定。今後の進捗と具体的な内容は次回委員会にてご報告します。  |   | 調整開始   | 実施   | 実施   |
| 2   | 研修              | ①専門・連携コーディネーターによるオープン研修              | 受講対象：スタッフ（市民活動支援担当に限らず、受講可能な職員は受講推奨）、区担当者、一般利用者・区民（希望者）  | 2か月に1回<br>夜間  | 目的：①スタッフの支援基礎力強化、②施設と講師陣（区内活動者・専門家）との関係強化、③利用者への分野ごと・地域ごとの専門的支援の提供<br><br>実施内容（案）：<br>・講師：専門・連携コーディネーター<br>・会場での参加+オンライン視聴を想定<br>・講師の希望によるが、座学と相談を組み合わせた内容で実施。<br>施設での相談内容や取り組みについて講師に相談、講師から施設として取り組んでほしいこと、また一般参加者から講師への活動相談、などを行う  |   | 検討準備   | 試行   | ●    |
| 3   |                 | ②外部支援機関による研修<br><br>※④と連動した内容も想定     | 受講対象：<br>拠点スタッフ（原則として全員）<br>区担当者<br><br>拠点内関係者向け（スキルアップ） | 年3回<br>程度   | 目的：①市民活動の基礎理解（世田谷のみならず全国的な潮流やこれまでの経緯、制度等についてスタッフ個々の理解を深める）<br>②世田谷の市民活動を支援する施設として、どのようなビジョンを描いてどのような取り組みをしていくべきか、職員集団として考える契機とする。<br><br>実施内容（案）<br>・座学+ワークを想定<br>・以下④の「世田谷の地域理解や世田谷の地域での活動の特徴や歴史についての研修」も今後は同時開催を企画していく<br>・まずは施設の開設にあたり、拠点内関係者のスキルアップ向上を目指す、将来的には担い手になりうる区民の方むけの研修も企画検討していく |   | 試行     | ●    | ●    |
| 4   |                 | ③ファシリテーター研修                          | 受講対象：<br>拠点スタッフ（原則として全員）<br><br>拠点内関係者向け（スキルアップ）         | 年3回<br>程度   | 目的：支援者基礎力として全スタッフがコーディネーター、ファシリテーターとしての立ち位置と実践力を身につける<br><br>・実施内容（案）<br>a) 座学：コーディネーターとは？<br>b) ワークショップの意味やつくり方<br>c) 実践研修：各スタッフがちょっとしたワークショップをつくってやってみる<br>→実践の場として「今日は〇〇さん」、職員研修等<br><br>・まずは施設の開設にあたり、拠点内関係者のスキルアップ向上を目指す、将来的には担い手になりうる区民の方むけの研修も企画検討していく                                 |   | 検討準備   | ●    | ●    |
| 5   |                 | ④施設理解・地域コミュニティ研修<br><br>※②と連動した内容も想定 | 受講対象：<br>拠点スタッフ（原則として全員）<br><br>拠点内関係者向け（スキルアップ）         | 年3回程度   | 目的：施設としてのビジョンや取り組みを考える研修とする。<br>実施内容（案）<br>・②の市民活動の基礎を学ぶ研修と統合して実施する<br>・まずは施設近隣地域を知る研修を取り入れる。<br>例：近所を歩いてみる。商店街に一軒一軒チラシを渡しに行く。<br>その際の店主との距離感やスタンス（言葉遣い等）を考えてみる。  |   | 検討準備   | 試行   | ●    |
| 6   |                 | 情報の蓄積と活用                             | エフエム世田谷との連携  | 情報取りまとめ・企画：マッチングコーディネーター、マッチングコーディネートディレクター、副施設長<br>連携：事業企画・広報担当（施設長） | 随時  | 実施内容（案）<br>・案①拠点自体のPR<br>→「今日は〇〇さん」と連動した番組の制作、拠点の紹介、イベント情報告知等<br>・案②活動団体の紹介、PR<br>→活動内容、イベント、関係者の番組へのゲスト出演 など |        | 検討準備 | 試行   |
| 7   |                 | 世田谷まちづくりアーカイブスの設置                    | 管理：マッチングコーディネーター   |   | ・文書等を配架できる棚を設置し、可能なものは閲覧できるようにする<br>・コンセプトの検討から始める。<br>（案）世田谷の貴重な資料を集める→協議（公開可否、等）→整理・保管<br>・幅31センチ×高さ53センチ×奥行き32センチのボックス   |   | 検討準備   | 試行   | ●    |

| No. | カテゴリー                            | 件名                  | 対象             | 時期・頻度           | 実施内容（イメージ）   | 目的   | 2026年度   |      | 2027 |
|-----|----------------------------------|---------------------|----------------|-----------------|--|--|----------|------|------|
|     |                                  |                     |                |                 |  |  | 4～10     | 11～3 |      |
| 8   | 市民・区職員の交流<br>と新たな活動を生み<br>出す事業   | 「今日は〇〇さん」           | 参加：希望する区民、活動団体 | 年間150日<br>週2～3回 | ・「〇〇さん」イメージ<br>区職員、地域で活動する団体のリーダーやスタッフ、財団の理事や役員<br>商店主、地域で活動する各種団体の役員、地域共生の家のオーナー  |  | 検討<br>準備 | 試行   | ●    |
| 9   |                                  | 部活動支援               |                | 常時              | ・事前準備：部活動のルールづくり、掲示板等での活動のよびかけ<br>モデルとなる部活動の立ち上げ<br>・（仮称）フリーミーティングの実施（お茶会イメージ）（月2～4回）：<br>マッチングコーディネーターによる相談受け、部活動のPR  | 検討<br>準備   | 試行       | ●    |      |
| 10  |                                  | 相談体制の確立と活動強化の支援     |                | 常時              | ・事前準備<br>連携コーディネーター・専門コーディネーターの人選と依頼、相談事業の詳細検<br>討、ルールづくり<br>・スタートアップ相談ミーティングの周知：<br>マッチングコーディネーターを中心とした開催。一対一でなく、グループによる雑<br>談のような展開、必要に応じて個別相談や専門コーディネーターへ連携。<br>・（仮称）フリーミーティングの実施（お茶会イメージ）（月2～4回）：<br>マッチングコーディネーターによる相談受け、部活動のPR | 検討<br>準備   | 試行       | ●    |      |
|     |                                  | 団体運営支援とピアカウンセリング    |                | 随時              | 情報統括：マッチングコーディネーターディレクター<br>副施設長<br>事前の人選と調整、当日のホスト役：<br>マッチングコーディネーター<br>連携：施設長（拠点全スタッフ、事業者関係者）、<br>区所管   | ・希望に応じてカウンセリングは随時実施<br>・（仮称）フリーミーティングの実施（お茶会イメージ）（月2～4回）   | 検討<br>準備 | 試行   | ●    |
| 11  |                                  | 「区職員との連携強化」に向けた伴走支援 |                | 随時              |  | ・（仮称）フリーミーティング（お茶会のようなイメージ）<br>マッチングコーディネーターが必要と判断した時に職員に連絡し、開催する。   | 検討<br>準備 | 試行   | ●    |
| 13  | 拠点や地域の運営者<br>のすそ野を広げ、参<br>加を促す事業 | 若者参画                |                | 随時：             | ・「今日は〇〇さん」登場者や日々の相談対応、関係機関・支援者との意見交換の<br>中からニーズを探り、コアとなるメンバーを募っていく。  | 検討<br>準備   | 調査       | ●    |      |
| 14  |                                  | 地域コーディネーター研究会       |                |                 | 事業運営委<br>員会との連<br>携・連動の<br>上で実施。   | ・世田谷の地域や市民活動を支えていく実践に携わっている有志が参加、参加者主<br>導で運営を行う。<br>・地域情報や地域課題の共有、事例検討、現場の見学会、必要な連携や仕組み・制<br>度の考察とそれに向けた取り組み等を想定。世田谷全体としての「支える力」<br>「変えていく力」の強化を目指す。<br>・「今日は〇〇さん」登場者や日々の相談対応、関係機関・支援者との意見交換の<br>中からニーズを探り、コアとなるメンバーを募っていく。 | 検討<br>準備 | 調査   | ●    |

イメージ：「今日は〇〇さん」

■ スタートアップ支援の具体提案 POINT

**提案1 「今日は〇〇さん」**

本施設の目玉企画として、区内を中心に多様な人材が日替わり（年間150日程度）で施設にいる時間帯を設けます。これにより、その人に会いたい人、偶然出会って話をする人など、多様な交流を生み出す機会とします。

【役割】

- 「今日は〇〇さん」は、さまざまな活動をしている人、専門士業、連携コーディネーター、商店主、団体職員、区職員など多様な人が担います。
- 滞在時間は最低2時間とし、交流スペースで待機します。待機中の活動内容は自由としますが、「今日は〇〇さん」と話したい人がいれば必ず対応することを条件とします。
- 本施設に常駐するマッチングコーディネーターが全体のスケジュール管理を行い、必要に応じて「今日は〇〇さん」の対応に同席してファシリテーションを担当します。

【効果】

若い世代も多様な分野や人が交流を促進する「接着剤効果」として積極的に活用し、世代間交流の促進を図ります。この取り組みにより、新たな層の参画を活かす主体的関与のコーディネートにもつながります。

(※) アーカイブイメージ

1ボックス大きさ  
(イメージ)

